

県立坂東清風高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- ・普通教育、専門教育を通して、確かな学力を育み、未来を創造する力を持った人材を育成する学校
- ・個に応じた学習を通し、高い専門性と実践力を培い、社会において生きる力を備えた人材を育成する学校
- ・地域との連携、交流を通して、地域愛・協働する力を育み、地域のニーズに応え郷土の発展に貢献できる人材を育成する学校

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>地域の課題を探究していく中で、人とつながって生きる意味を理解し、自己の将来を切り拓き、将来地域社会に貢献しようとする意欲をもつことができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付けるとともに、地域の特徴や良さに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。</p> <p>(2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。</p>	<p>(1) 地域の特徴（風土、産業、文化、伝統等）を理解している。地域の特徴から生まれる良さやそれらを支える人々の努力や工夫に気付くことができる。</p> <p>(2) 課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手法で適切に収集している。収集した情報を整理し、比較したり推測したりして分析している。</p> <p>(3) 自己の在り方・生き方を見つめ、社会の形成者として自分にできることを考え、主体的に地域社会に関わろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事象を調べたり、得られた情報をまとめたりすることに困難がある場合は、必要な事象や情報を選択して整理できるように、着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に提示する。 ・学習の振り返りが難しい場合には、学習してきた場面を想起しやすいように、学習してきた内容を文章やイラスト等で視覚的に示すなどして配慮する。

様式1

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	道徳を軸としながら、地域や学校の特色に応じた課題と、多様な進路実現をふまえた自己探究課題について、インターネットや書籍、資料等を用いて情報収集する。収集した情報を整理、分析し、ワークシートなどにまとめ、発表する。	近隣住民、大学、専門学校、企業、坂東市等	他者や地域との繋がりを自覚し、多様な意見を尊重しながら主体的に課題へ挑む生徒。論理的な分析に基づき、集団や地域の課題解決に協働して取り組むとともに、自らの適性を踏まえた多様な進路を自ら切り拓く生徒。
2年	地域や学校の特色に応じた課題と、職業や進路に関する探究課題について、インターネットや書籍、資料等を用いて情報収集する。収集した情報を整理、分析し、ワークシートなどにまとめ、発表する。	近隣住民、大学、専門学校、企業、坂東市等	地域の特性を理解し、多角的な視点で社会の課題に向き合う生徒。正確な調査と分析に基づき、他者と協働して解決策を立案するとともに、社会参画への強い意志を持って自らの道を切り拓く生徒。
3年	自己探究、進路探究、現代社会（社会的責任）に関する課題について、インターネットや書籍、資料等を用いて情報収集する。収集した情報を整理、分析し、ワークシートなどにまとめ、発表する。	近隣住民、大学、専門学校、企業、坂東市等	地域社会での役割と責任を自覚し、論理的な分析に基づき目標へ挑む生徒。自己の適性を踏まえ、多様な意見を尊重しながら主体的に進路を切り拓き、社会に貢献しようとする生徒。